

日立業務用エコキュート

HITACHI
Inspire the Next

自然冷媒(CO₂)大容量ヒートポンプ給湯システム

取扱説明書

〔寒冷地タイプ〕

形式 ヒートポンプユニット RHK-15YJK
貯湯ユニット RHK-T56YK

システム名称

RHK-1501YJKS (貯湯ユニット1台)

RHK-1502YJKS (貯湯ユニット2台)

RHK-1503YJKS (貯湯ユニット3台)



必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。塩分・石灰分・硫黄分・その他の不純物を多く含む水質などの特殊な水質には本製品を使用しないでください。

また、お湯を沸かすための熱源を空気熱源ヒートポンプとしています。冬期の外気温度がマイナス20℃を下まわる地域ではご使用になれません。

(故障等が発生する場合があります。)



はじめに／特長 2

安全上のご注意①②③ 3～5

- 据え付け上の注意事項
- 移設・修理時の注意事項
- 使用上の注意事項

使用上のお願いとお知らせ 5

各部の名称と働き 6～8

- ヒートポンプユニット／貯湯ユニット／本体周辺
- リモコン

リモコンの使用方法

- 電源の投入 9
- 時計の合わせかた 10
- 貯湯温度の設定のしかた 10
- 貯湯運転時間の設定のしかた 11
- 沸き増し運転の設定のしかた 12
- 給湯機の運転休止のしかた 13
- ピークカットの設定のしかた 14
- タンク貯湯量の確認(表示切換)のしかた 15
- タンク湯切れアラーム 15

凍結防止 16

長期間運転を停止するとき 17～18

電源ブレーカーを入れたときと停電後 18

各部の点検とお手入れ 19～20

故障かな? 21～22

保証とアフターサービス 23

定期点検 23

お客様ご相談窓口 24

仕 様 25

ご使用の前に

リモコンの使用方法

上手な使い方

アフターサービス

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになった後は、保証書と共に大切に保存してください。

はじめに



この給湯機は、業務用を目的とした高温貯湯式ですので、シンク等の出湯口には必ず混合栓をご使用ください。

また、給湯以外の目的で使用しないでください。

特長 大量のお湯を使うレストラン、食品スーパー、病院、福祉施設におすすめ。

- 自然冷媒(CO₂)採用のヒートポンプユニットと貯湯ユニットの組み合わせで、施設の使用湯量に応じた給湯が可能です。
- レストラン、給食センター、スーパー、病院、老人ホーム、デイケア施設、社員食堂、ホテル、結婚式場の厨房に最適。スポーツ施設、福祉施設のシャワーなどにも対応できます。

特長

1

環境に配慮 自然冷媒採用

- 自然冷媒(CO₂)を採用GWPはフロン系冷媒の1/1,700で環境に配慮。
- 90℃の高温給湯でたっぷりの給湯量を確保しました。

特長

2

給湯量に合わせ組み合わせ自在

- 基本システム構成で1日約4トン(60℃換算)のお湯が使えます。
- ヒートポンプユニットと貯湯タンクユニットの組み合わせを選べ、最適システムのご提案ができます。

特長

3

寒冷地対応で省エネ性向上

- 外気温-20℃まで使用可能なので、寒冷地でも高効率給湯が可能。
- 高い省エネ性、定格(中間期)COP4.3を実現。光熱費も大きくセーブ。

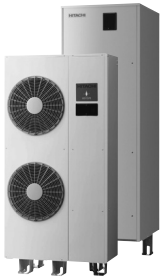
特長

4

「即湯循環システム」に対応

- ヒートポンプユニットに「内部熱交換器」を搭載。入水温度限界を65℃に高め「即湯循環システム」に対応しました。これにより各種介護施設、浴場、ビジネスホテル、理美容店にもご提案。

■ 業務用エコキュートのシステム組み合わせ

	貯湯ユニット1台	貯湯ユニット2台	貯湯ユニット3台
ヒートポンプユニット 1台	 加熱能力 15kW 貯湯量 560L	 加熱能力 15kW 貯湯量 1,120L	 加熱能力 15kW 貯湯量 1,680L
ヒートポンプユニット 2台	 加熱能力 30kW 貯湯量 1,120L	 加熱能力 30kW 貯湯量 2,240L	 加熱能力 30kW 貯湯量 3,360L

- 1つのリモコンで上記のヒートポンプユニット2台システムまで操作できます。

安全上のご注意①

必ずお守りください。

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、必ず守ってください。
- 警告と注意の意味は次の通りです。

	警告	「死亡または重傷などを負うおそれがある」内容です。
	注意	「傷害を負うおそれ、または物的損害の生じるおそれがある」内容です。

- 本文中「図記号」の意味は次の通りです。

	必ず実行していただく「強制」内容です。
	必ずアース線を接続してください。
	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	触れないでください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保存してください。

ご使用の前に

警告



改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



アース線接続

- アース工事がされているか確認する
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
・アースの取り付けは販売店にご相談ください。



禁止

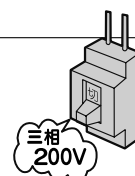
- ヒートポンプユニット、貯湯ユニットの近くにガス類容器や引火物を置かない
発火することがあります。
- 湿気の多い場所に据え付けない
- 雨や雪が降った時に、水たまりができて水につかるようなところに据え付けない
浴室など湿気の多い場所に据え付けると、感電や火災などの原因になります。

注意



強制

- ヒートポンプユニット、貯湯ユニットの脚がアンカーボルトで固定してあるか確認する
本体が倒れてけがをすることがあります。
・固定していない場合は販売店にご相談ください。
- ヒートポンプユニット、貯湯ユニットを設置する床面が防水処理・排水処理されているか確認する
水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
・販売店にご相談ください。
- 電源は、三相200Vを使用する
三相200V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、
発火の原因になります。
- 次の場所には設置しない
海岸地区など塩分が多い所や、硫化ガスの発生する所に設置すると、事故・故障の原因になります。
運転音が隣家の迷惑になる所に設置すると、クレームの原因になります。



据え付け上の注意事項

移設・修理時の注意事項

警告



強制

- 異常時 (こげ臭いなど) は、運転を停止してヒートポンプユニットの電源スイッチを「切 (OFF)」にして (または分電盤のブレーカーを「切 (OFF)」にして) お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
- 修理は、お買い上げの販売店または、修理窓口に依頼する
ご自分で修理をされ不備があると、感電や火災などの原因になります。
- 機器を移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口
に依頼する
ご自分で移動・再設置され、不備があると、感電や火災などの原因になります。

警告



強制

- 漏電遮断器の作動を確認する
漏電遮断器が故障したまま使用すると、漏電のときに感電する恐れがあります。
(漏電遮断器の動作確認方法はCア19ページ)
- 給湯温度を確かめる
やけどの恐れがあります。



接触禁止

- 給湯時は給湯カランに手を触れない
やけどをすることがあります。



禁止

- 機器の前面カバーは開けない
感電の恐れがあります。
- ヒートポンプユニットの空気吸入口、空気吹出口に手や棒を入れない
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。

注意



禁止

- ヒートポンプユニット・貯湯ユニットに乗ったり、ものを載せたりしない
落下や転倒などにより、けがの原因になります。
- ヒートポンプユニットの吸入口や底面、アルミフィンにさわらない
けがの原因になります。
- 動植物にヒートポンプユニットの空気吹出口から出る風を直接当てない
動植物に悪影響を及ぼす原因になります。
- ヒートポンプユニットの空気吸入口や空気吹出口をふさがない
能力低下や故障の原因になります。
- 長期間の使用で、傷んだままの据付台などで使用しない
機器の転倒・落下につながり、けがなどの原因になります。



強制

- 給湯機から出る湯水をそのまま飲用しない
長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって
水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカ
ンなどで沸騰させてからにしてください。
・ 固形物や変色した水・濁り・異臭があった場合には、直ちに点検の依頼を行ってくだ
さい。

安全上のご注意③

必ずお守りください。

使用上の注意事項



強制

- ヒートポンプユニット、貯湯ユニット前面の操作カバーは閉じておく
ショート・感電の恐れがあります。
- 貯湯ユニット、ヒートポンプユニットを満水にしてから電源を入れる
お湯が正常に出ません。
 - ・ 給湯システムの運転開始時の準備は、販売店にご依頼ください。
- 給湯機を1ヵ月以上使用しない時は、電源スイッチを「切(OFF)」にして、
ヒートポンプユニットと貯湯ユニットの水を抜く
水質が変化することがあります。(水抜き方法は㊦ 17 ページ)
- 外気温度が0℃を下回る恐れのある場合は、凍結防止ヒーターを使い凍結防止対策を
必ず行う(㊦ 16 ページ)
配管が凍結破裂した場合、そのまま使うと熱湯でやけどをすることがあります。
 - ・ 保温工事は販売店にご依頼ください。
- 最初にお使いになる時に、貯湯ユニットのタンク内に水が入っている場合は、
タンク内の水を一度排出する
タンクや配管内の水質が変化していることがあるので、タンクの排水、給水を行い
水を入れ替えてください。
(タンク排水・タンク給水の方法は㊦ 17 18 ページ)
- ヒートポンプユニットのドレン水が凍結し、ドレン穴を塞いでいないか確認する
ドレン穴が塞がった場合、そのまま使うと、機器を破損し、運転できなくなります。
塞いでいる場合は、販売店にご相談ください。
- ヒートポンプユニットのドレン水で、機器の周囲が凍結していないか確認する
機器周囲の地面などが凍結した場合、転倒などによりけがの原因になります。
凍結している場合には、凍結した氷を除去してください。

ご使用の前に

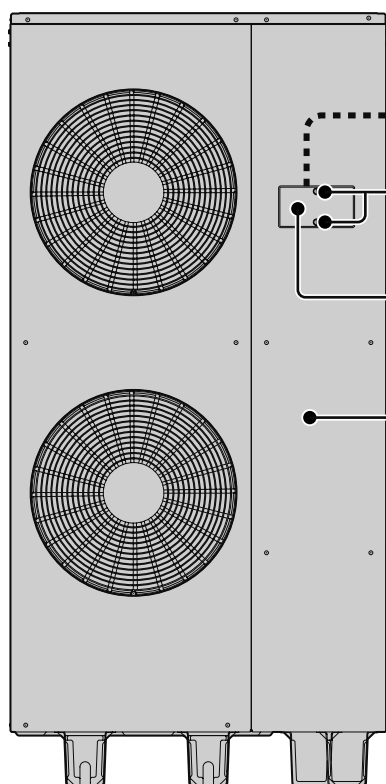
使用上のお願いとお知らせ

- 給水圧力は、200kPa(2kgf/cm²)以上あること。
給水圧力が指定圧力以下の場合は、水やお湯の出る量が少なくなります。
その場合は、販売店または工事店にご相談ください。
- お湯は上手にお使いください。
お湯を連続的に多量にお使いになると、外気温度が低い時などお湯の温度が下がることがあります。
- リモコンの時刻を月に一度、確認してください。
リモコンの現在時刻がずれた場合は、リモコンで現在時刻を合わせ直してください。(現在時刻の合わせ方は㊦ 10 ページ)
- 給湯開始時は、しばらくの間は水が出る場合がありますが、これは機器から出湯口までの配管中に
残っていた水が出るためですので、そのまま給湯を続けてください。
- リモコンには水をかけないでください、故障の原因になります。

◆各部の名称と働き

ヒートポンプユニット

ご使用の前に

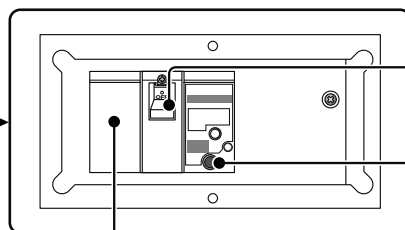


ネジ

操作カバー

前面カバー

操作カバー内部



電源スイッチ

テストボタン

漏電遮断器

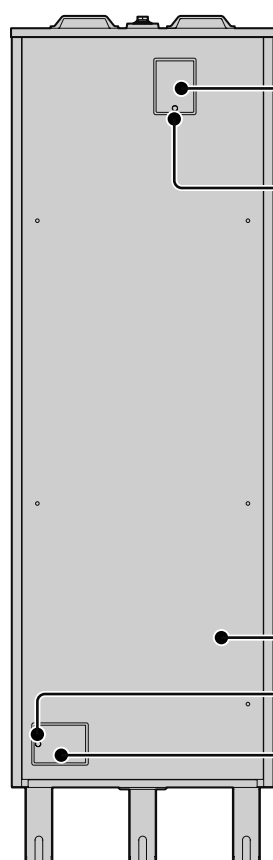
万が一、漏電が発生したときに電源を切り、感電を防止します。

月に1回、ボタンを押して漏電遮断器の作動を確認するものです。
(☞ 19ページ)

付属品

- 保証書×1
- 取扱説明書×1 (本書)
- 据付説明書×1
- アンカー用型紙×1
- 減圧弁×1 (貯湯ユニット取付用)

貯湯ユニット



操作カバー①

ねじ

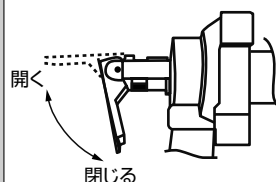
付属品

- アンカー用型紙×1

操作カバー内部

タンク給・排水するときに開きます。

① 逃し弁



- タンク沸き上げ時は、逃し弁からの膨張水をタンク排水管より排出し、タンク内を一定圧力以下にします。

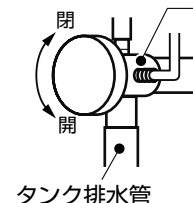
前面カバー

ねじ

操作カバー②

② 排水栓

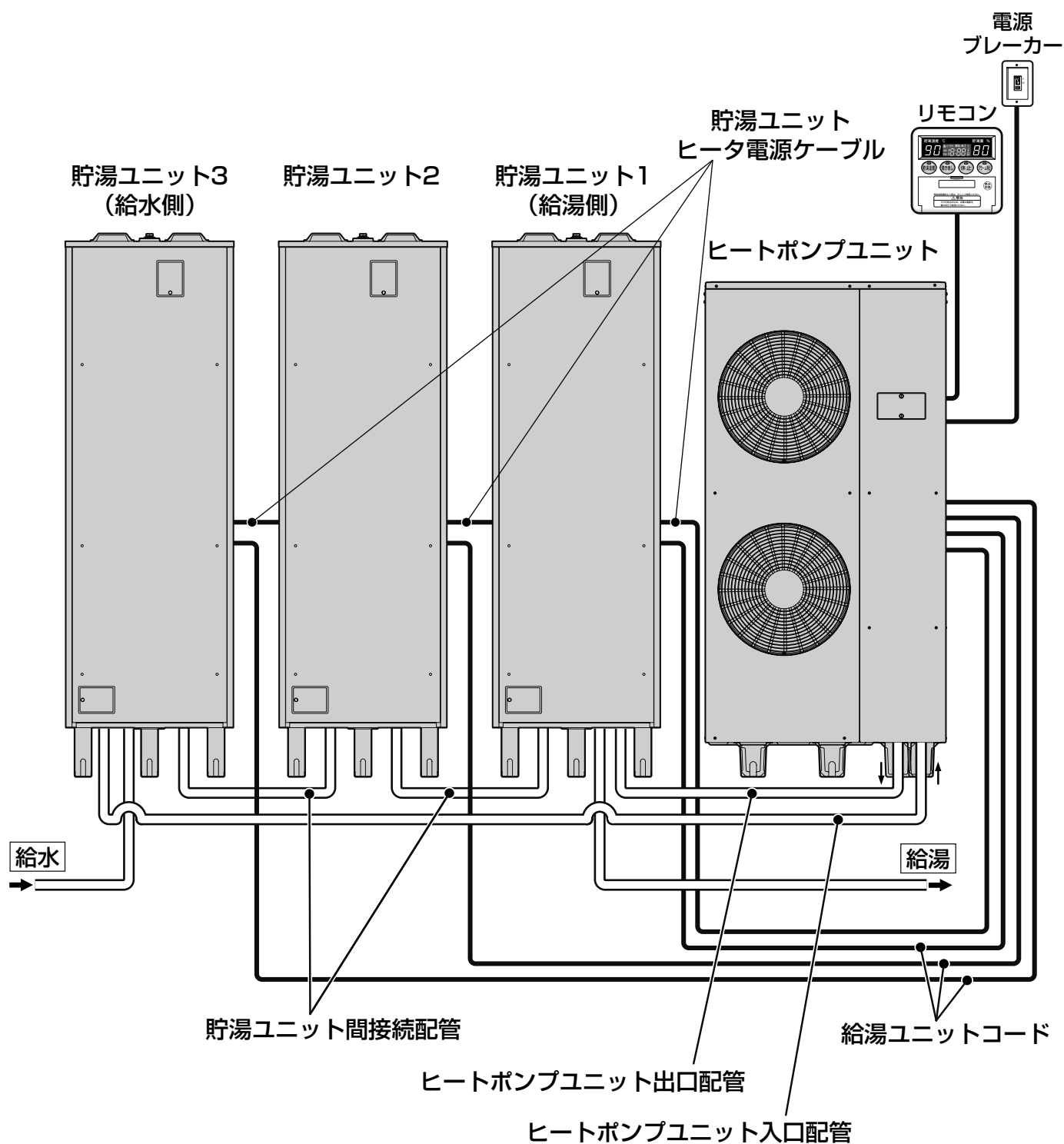
タンクのお湯を排水するときに使用します。



- ※ 排水栓を閉じていても、タンク沸き上げ中はタンク排水管より少量の膨張水を排出します。

本体周辺

■ 下の図は、貯湯ユニットが3台 (RHK-1503YJKS) の場合を記載しています。



各部の名称と働き(リモコン)

リモコン

沸き増しボタン

- 沸き増し量を設定します。

貯湯温度設定ボタン

- 貯湯温度を設定します。

貯湯時間設定ボタン

- 貯湯運転する時間帯を設定します。

ピークカット設定ボタン

- ピークカット(運転停止)する時間帯を設定します。

開始・終了設定ボタン

- 貯湯運転、ピークカットの時間帯の開始、終了時刻を設定します。

時・分設定ボタン

- 時計の時刻合わせや貯湯運転時間帯、ピークカット時間帯を設定することができます。

休止ボタン

- 給湯機の休止日数を設定します。

アラーム停止ボタン

- アラーム音を消します。

表示切換ボタン

- 本リモコンは給湯機を2台まで接続、操作できます。2台の給湯機を接続している場合、本ボタンにより各々の給湯機の貯湯量の表示を切換ることができます。

時計設定ボタン

- 時計の時刻合わせを行います。

表示部

(説明のため、全て表示しています。)

ピークカット表示

- ピークカット設定されているとき点灯します。
- ピークカット時間帯設定、確認時点滅します。

給湯機運転表示

- ヒートポンプユニットが運転しているとき点灯します。
- 霜取り運転中も点灯します。

貯湯温度表示

- 貯湯温度の設定値を表示します。

時計表示

- 〈通常〉
 - 現在時刻(AM/PM 0:00~11:59)を表示します。
- 〈貯湯運転、ピークカット時間帯を設定する時〉
 - 貯湯運転、ピークカット時間帯の開始、終了時刻を表示します。
- 〈休止を設定する時〉
 - 休止日数を表示します。
- 〈機器異常時〉
 - エラーコードを表示します。

開始・終了表示

- 貯湯運転、ピークカット時間帯を設定する時、点滅します。

給湯機番号表示

- 貯湯量を表示している給湯機の番号を表示します。

貯湯量表示

- タンクの貯湯量を%表示します。
- 満タン時は「F」を表示します。

日表示

- 休止日数を表示するとき点灯します。



電源の投入

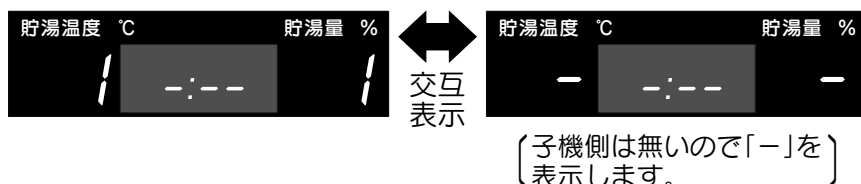
■ 初めて使用する場合など、給湯機の電源を投入する場合は、以下の手順で電源の投入や設定を行ってください。

1 給湯機の電源を投入します。(1台のリモコンで給湯機を2台接続して使用している場合は、子機→親機(リモコン接続されている給湯機)の順、または2台同時で、電源を投入します。)

- 電源を投入するとアラーム「ピー、ピー、…」が鳴り、アラーム停止ボタンのランプが点滅します。アラームを止めるには、**アラーム止** ボタンを押してください。
- 時計表示が「- : -」の点滅表示になります。
- 約1分間、貯湯温度表示部には給湯機番号、貯湯量表示部には接続されている貯湯ユニットの数をそれぞれ点滅表示し、接続確認を行います。なお、給湯機番号1は親機(リモコンが接続されている給湯機)、2は子機を示します。

接続確認時の表示例

〈貯湯ユニットを1台接続した給湯機を1台ご使用のとき〉



〈貯湯ユニットを3台接続した給湯機を2台ご使用のとき〉



※貯湯ユニット接続数は最大3台までとなります。3を超える数字が表示された場合は、ヒートポンプユニットと貯湯ユニット間の通信に異常が発生していますので、再度、**1** からやり直してください。

また、再度やり直した後も同じ場合は、据付施工業者または販売店までご連絡願います。

(例)タンク接続数表示「8」:3台中2番目が異常、同「9」:3台中1番目が異常

- 接続確認が終わると、表示が通常の表示に戻ります。

2 給湯機番号表示を確認します。

- 給湯機を2台接続してご使用の場合、給湯機番号は「1」のみ表示します。
- 給湯機を1台のみ接続してご使用の場合、給湯機番号は表示しません。(「1」、「2」両方消灯)

※表示が異常な場合は、再度 **1** からやり直してください。

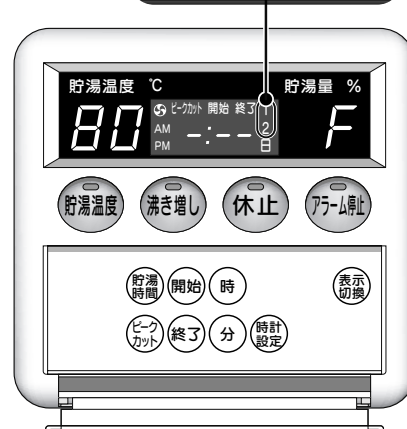
3 時計を合わせます。(☞ 10ページ)

知っておいていただきたいこと

- 1つのリモコンに給湯機2台を接続する場合、電源投入は必ず子機→親機(リモコンが接続されている側)の順で行ってください。親機から電源投入しますと親機1台のみの運転になる場合があります。
- 電源投入後、時計は必ず合わせてください。時計を合わせないと正常な運転ができなくなります。なお、電源投入後約1分間は時計合わせができませんのでご注意願います。



給湯機番号表示



時計の合わせかた

■ 時計は必ず合わせてください。

1 リモコンの(時計設定) ボタンを押します。

- 時計表示の時刻が点滅し、コロンの(:)が点灯します。

2 (時) (分) ボタンで現在時刻を合わせます。

- (時) ボタンを押すごとに、時の位が1時間ずつ進みます。
- (分) ボタンを押すごとに、分の位が1分ずつ進みます。

3 再度(時計設定) ボタンを押します。

- 時計表示が点滅から点灯に、コロンの(:)が点灯から点滅に変わり、時計がスタートします。



知っておいていただきたいこと

- 本給湯機は時刻による沸き上げ運転制御を行いますので、時計を必ず合わせてください。時計が未設定の場合、正常に運転できなくなります。
- 時刻の表示範囲は、AM(午前)、PM(午後)とも0:00~11:59です。
- 時計は、一度設定すると、停電があった場合は、復電後に現在時刻に復帰します。(但し、48時間以内)
- 時計は、季節(周囲温度)の変化や停電により誤差が発生します。月に1回程度時刻の確認をしてください。

貯湯温度の設定のしかた

■ 貯湯温度の設定は、外気温度によって貯湯温度を自動で選択する自動モードと、常に設定した温度で貯湯する温度固定モードの2通りがあります。

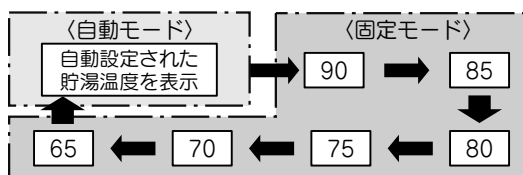
■ 温度固定モードでは設定温度を6段階(90℃、85℃、80℃、75℃、70℃、65℃)に変更できます。

1 (貯湯温度) ボタンを押します。

- 貯湯温度表示が点滅します。

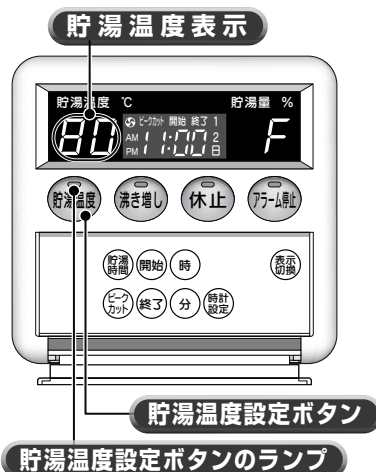
2 再び、(貯湯温度) ボタンを押します。

- 貯湯温度表示(自動モードではボタンのランプ含)が点滅します。
- (貯湯温度) ボタンを押す度に、設定モード、貯湯設定温度表示が右の矢印のように変化します。
- 自動モード選択時は、ボタンのランプも点滅します。



3 約10秒間放置すると、設定を確定します。

- 設定が確定すると、貯湯温度表示(自動モードではボタンのランプ含)が点灯に変わります。



知っておいていただきたいこと

- 出荷時の初期設定は自動モードになっています。
- 貯湯温度の設定は一度設定すると、再度設定し直すまで給湯機内に保持されます。(停電等で電源が遮断されても、設定は消えません。)
- 自動モード設定の場合、夏期では貯湯温度を低温にして効率のよい運転をし、給水温度の低い冬期は貯湯温度を高温にして夏期と同じ使用湯量を確保します。食器洗浄機、茹麺機などに高温給湯して使用する場合は、温度固定モードでご使用ください。

◆貯湯運転時間の設定のしかた

- 貯湯運転を行う時間帯を設定します。
- 30分単位で設定できます。

1 貯湯時間 ボタンを押します。

- 時計表示が0:00の点滅表示になり、「開始」「終了」表示が点滅します。
- 設定を中断したい場合は、再度 貯湯時間 ボタンを押します。また、約10秒間放置しても設定は中断されます。

2 開始 ボタンを押し、開始時刻表示モードにします。

- 「終了」表示が消灯し、「開始」表示のみが点滅します。
- 時計表示部が、現在設定されているタンク貯湯運転開始時刻の点滅表示に変わります。

3 開始時刻の確認、変更を行います。

〈開始時刻を変更する場合〉

- (時) (分) ボタンで時刻を設定します。
- (時) ボタンを押すごとに、時の位が1時間ずつ進みます。
- (分) ボタンを押すごとに、分の位が30分ずつ変化します。

4 終了 ボタンを押し、終了時刻表示モードにします。

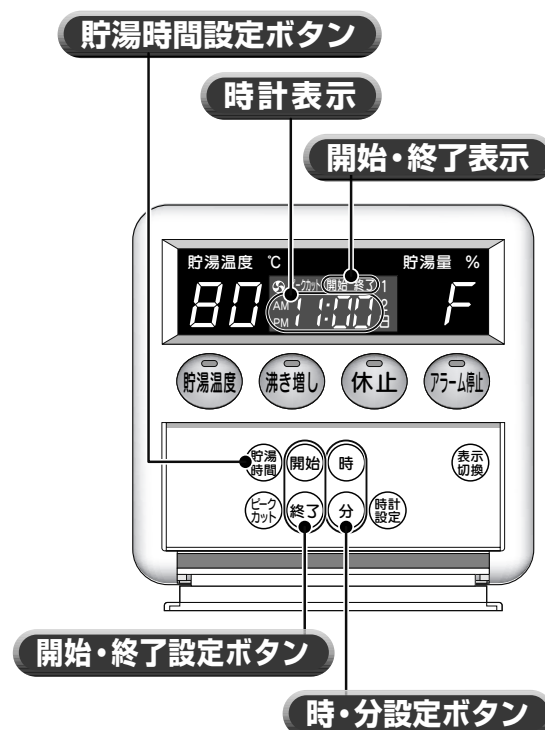
- 「開始」表示が消灯し、「終了」表示が点滅します。
- 時計表示部が、現在設定されているタンク貯湯運転終了時刻の点滅表示に変わります。
- 上記開始時刻表示モードで、(終了) ボタンを押さなくても、約10秒間放置されると自動的に終了時刻表示モードに変わります。

5 終了時刻の確認、変更を行います。

- 終了時刻を変更する場合は、上記開始時刻と同様に (時) (分) ボタンで設定します。

6 約10秒間放置し、設定を確定します。

- 貯湯時間帯が確定します。
- 「終了」表示が消灯し、時計表示が現在時刻の点灯表示に変わります。



知っておいていただきたいこと

- 貯湯運転終了時刻のみ確認、変更したい場合は上記 1 の後 (終了) ボタンを押してください。終了時刻表示モードに変わります。
- 出荷時の初期設定は、貯湯運転開始時刻はPM10:00、終了時刻はAM8:00になっています。
- 貯湯運転時間は営業時間外の給湯使用しない時間帯、あるいは給湯使用量の少ない時間帯を設定してください。
- 貯湯運転開始、終了時刻は一度設定すると、再度設定し直すまで、給湯機内に保持されます。停電等で電源が遮断されても消えません。
- 貯湯運転開始、終了時刻を同じ時刻で設定すると、貯湯運転は行いません。

沸き増し運転の設定のしかた

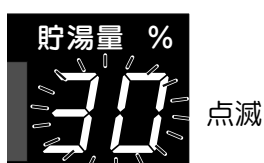
沸き増し運転とは…

- お湯の使用量が多いとき等には、夜間の貯湯運転でタンクに貯えた湯が足りなくなる(湯切れする)場合があります。湯切れを回避するために、沸き増し設定された量よりタンクの湯量が減ったら自動的に貯湯運転を行い、沸き増し設定された量まで沸き上げします。

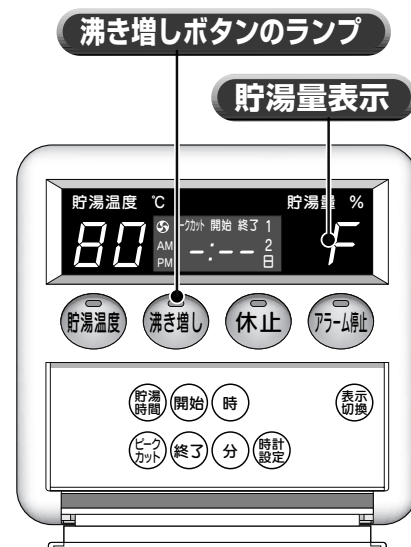
- 沸き増し運転の有り無しを設定します。
- 沸き増し運転を行う場合、沸き増し量が設定できます。

1 沸き増し ボタンを押します。

- 沸き増し ボタンのランプが点滅します。
- 貯湯量表示部が現在設定されている沸き増し量の点滅表示に変わります。

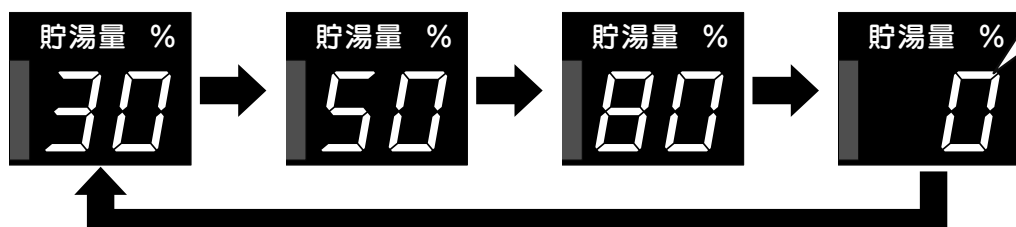


表示例：沸き増し量30%設定の場合



2 再び、沸き増し ボタンを押して沸き増し量を設定します。

- 沸き増し ボタンを押すごとに、沸き増し量表示が以下の矢印のように変化します。



3 約10秒間放置し、設定を確定します。

- 貯湯量表示が、貯湯量の点灯表示に戻ります。
- 沸き増し運転有り(沸き増し量30、50、80%)が確定すると、ボタンのランプは点灯します。
- 沸き増し運転無し(沸き増し量0%)が確定すると、ボタンのランプは消灯します。

知っておいていただきたいこと

- 沸き増し運転の初期設定は、沸き増し量30%になっています。
- 沸き増し運転の設定は、一度設定すると、再度設定し直すまで設定が保持されます。停電等で電源が遮断されても、設定は消えません。

給湯機の運転休止のしかた

- 給湯機を使用しない日は給湯機の運転を休止させ、無駄な運転を省きます。
- 休止期間を1日から最長9日まで、1日単位で設定できます。(初期設定は休止なしです。)

1 休止 ボタンを押します

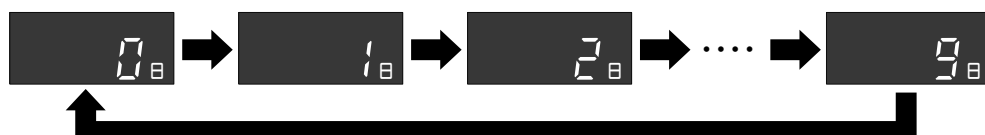
- 「日」表示、 ボタンのランプが点滅します。
- 時計表示が休止日数の点滅表示になります。



表示例：休止設定無し(休止日数0)の場合

2 再び、 ボタンを押して休止日数を設定します。

-  ボタンを押すごとに、休止日数表示が以下の矢印のように変化します。



3 約10秒間放置し、休止設定を確定します。

- 時計表示部の休止日数表示、 ボタンのランプが点滅から点灯になり、給湯機は休止状態になります。リモコンの休止日数以外の表示は消灯します。
- 休止日数0日を選択した場合は、休止状態にはならず、表示は通常状態に戻ります。

休止状態で休止解除、休止日数を変更するには…

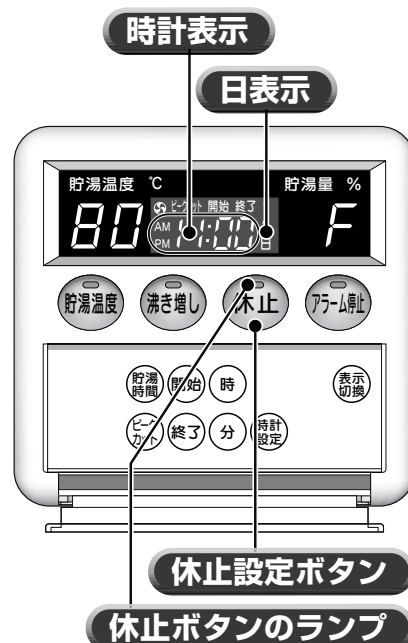
- ① 休止を解除するには、 ボタンを押します。休止状態が解除され、表示が通常状態に戻ります。
( ボタンのランプが消灯、時計表示が現在時刻表示に変化)
- ② 休止日数を変えたい場合は、①の状態から再度休止設定を行ってください。

運転休止日数の設定の仕方

例) 現在、金曜日で土曜日、日曜日が休日で月曜日の朝からお湯を使いたい場合。
 休止日数は「2日」設定します。(設定確定時から給湯機は運転停止します。)
 金曜夜と土曜夜の2日間の夜間貯湯運転を休止して、日曜夜の貯湯運転から運転を開始します。
 月曜朝には設定温度のお湯が使用可能となります。
 (休止設定された金曜夜から日曜夜の貯湯運転開始までの間は、給湯機の運転は行いません。)

知っておいていただきたいこと

- 休止設定中は夜間の貯湯運転も昼間の沸き増し運転も行いません。
- 休止日数は貯湯運転開始時刻が経過するごとに、減少していきます。
- 停電等で電源が遮断された場合は、休止状態は解除されます。(初期設定は0日です。)
- 休止中でも凍結防止運転は行います。



◆ピークカットの設定のしかた

ピークカットとは…

- ピークカット設定をした時間帯は給湯機の運転はしません。
電力使用量がピークとなる時間帯に合わせてピークカット設定しておくことにより、給湯機の運転を停止してご契約の電力量の超過を防ぐことができます。
- ピークカット時間は最長12時間まで設定できます。(12時間を超える設定はできません。)

1 ボタンを押します。

- 「ピークカット」「開始」「終了」表示が点滅し、時計表示が「0:00」の点滅表示に変わります。

2 ボタンを押し、開始時刻表示モードにします。

- 「ピークカット」「開始」表示が点滅し、時計表示が現在設定されているピークカット開始時刻の点滅表示に変わります。

3

〈開始時刻を変更する場合〉

-   ボタンで時刻を設定します。
-  ボタンを押すごとに、時の位が1時間ずつ進みます。
-  ボタンを押すごとに、分の位が30分ずつ変化します。

4 ボタンを押し、終了時刻表示モードにします。

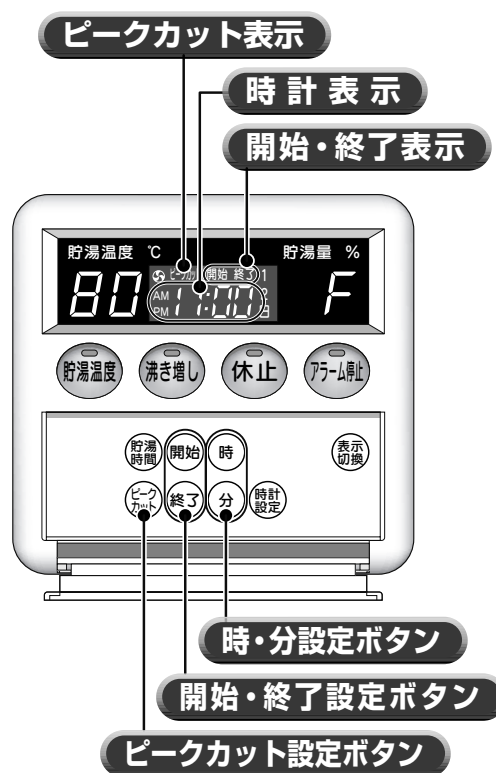
- 「ピークカット」「終了」表示が点滅します。
- 時計表示部が、現在設定されているタンク貯湯運転終了時刻の点滅表示に変わります。
- 上記開始時刻表示モードで、 ボタンを押さなくても、約10秒間放置されると自動的に終了時刻表示モードに変わります。

5

- 終了時刻を変更する場合は、上記開始時刻と同様に   ボタンで設定します。

6

- 「終了」表示が消え、時計表示部が現在時刻の点灯表示に戻ります。
- ピークカットが設定されると、「ピークカット」表示が点滅から点灯に変わります。



ピークカットを解除するには…

- ①  ボタンを押し、「ピークカット」「開始」「終了」表示を点滅させます。
- ② 上記の状態、 ボタンを再度押します。「ピークカット」「開始」「終了」表示が消灯し、ピークカットが解除されます。なお、 ボタンを押さない場合でも、約10秒間放置すると、自動的にピークカットが解除されます。

知っておいていただきたいこと

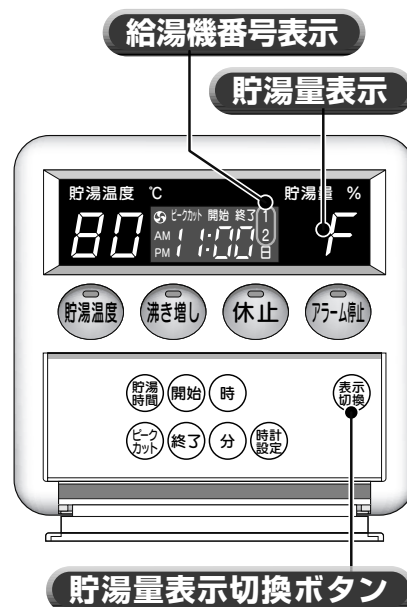
- ピークカット時間が12時間を超える終了時刻の設定を行った場合、リモコンのアラームが鳴り、終了時刻は自動的に変更されます。(開始時刻から12時間後の時刻に設定されます。)
- ピークカット時間帯と貯湯運転時間帯(11ページ)が重なって設定された場合、貯湯運転時間内で貯湯が終了しない場合があります。できるだけ貯湯運転時間帯内にはピークカットは設定しないでください。また、場合によっては湯切れの心配がありますので、ピークカット時間はできるだけ短めに設定することをおすすめします。

◆タンク貯湯量の確認(表示切換)のしかた

- 1台のリモコンで給湯機を2台接続してご使用されている場合、貯湯量表示部には、一方の給湯機(給湯機番号表示部に表示されている給湯機)の貯湯量(残湯量)が表示されます。
- **表示切換** ボタンにより、もう一方の給湯機の貯湯量を表示させることができます。

1 **表示切換** ボタンを押します。

- **表示切換** ボタンを押すごとに、表示されている給湯機番号が1⇔2間で変化し、貯湯量表示もそれぞれ表示されている給湯機側の貯湯量を%で表示します。
- 貯湯量は「0」(タンク内湯なし)から「F」(fullの略、満タン)まで10～30(%)単位で表示します。



知っておいていただきたいこと

- 給湯機を2台接続してご使用の場合、給湯機番号「1」はリモコンが接続されている側を示します。
- 給湯機を1台のみ接続してご使用の場合、給湯機番号は表示されません。

◆タンク湯切れアラーム

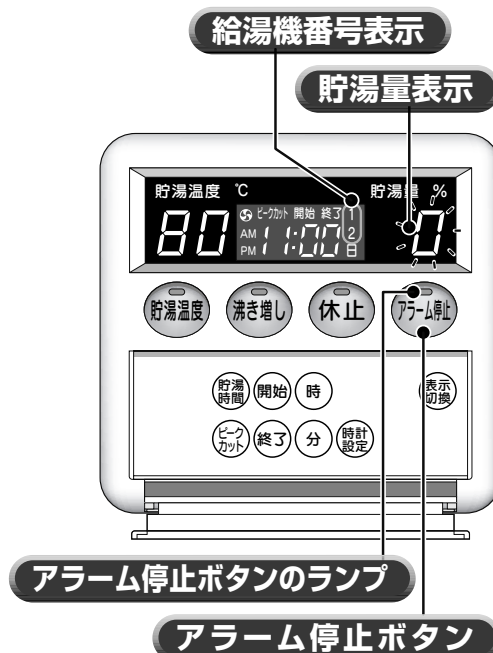
- タンクの中の湯が無くなると、湯が無くなった給湯機の番号が点滅表示し、貯湯量表示も「0」の点滅表示になります。また、**アラーム** ボタンのランプが点滅するとともに、アラーム「ピー、ピー、ピー…」が鳴ります。

アラームを止めるには…

- **アラーム** ボタンを押します。
ボタンのランプが消灯しアラームも止まります。

知っておいていただきたいこと

- アラームを止めても、タンクの残湯量が復帰するまで給湯機番号、貯湯量は点滅し続けます。
- 給湯機数を2台接続してご使用中に2台ともタンク湯切れが発生した場合、給湯機番号は「1」、「2」とも点滅表示になります。
- アラームを止めても、再度湯切れが起こると、再びアラームが鳴ります。
- 湯切れしている間は給湯機から出せるお湯の量が減ったり、お湯の温度が低下したりします。
お湯の使用を止めるか、使用量を少なくしていただくとタンクの湯量回復を早めることができます。



凍 結 防 止

- 本体周囲温度が0℃以下となる環境では給水・給湯およびユニット間配管内の水が凍結し、給水・給湯およびユニット間配管・本体機器の破損の原因となります場合があります。
販売店・据付工事店へ相談し、適切な凍結防止対策を必ず行ってください。
また、ご使用時、本体周囲温度が0℃を下回る恐れのある場合は、製品本体および現地施工部分の配管の凍結を防止するため、必ず下記の処置を行ってください。

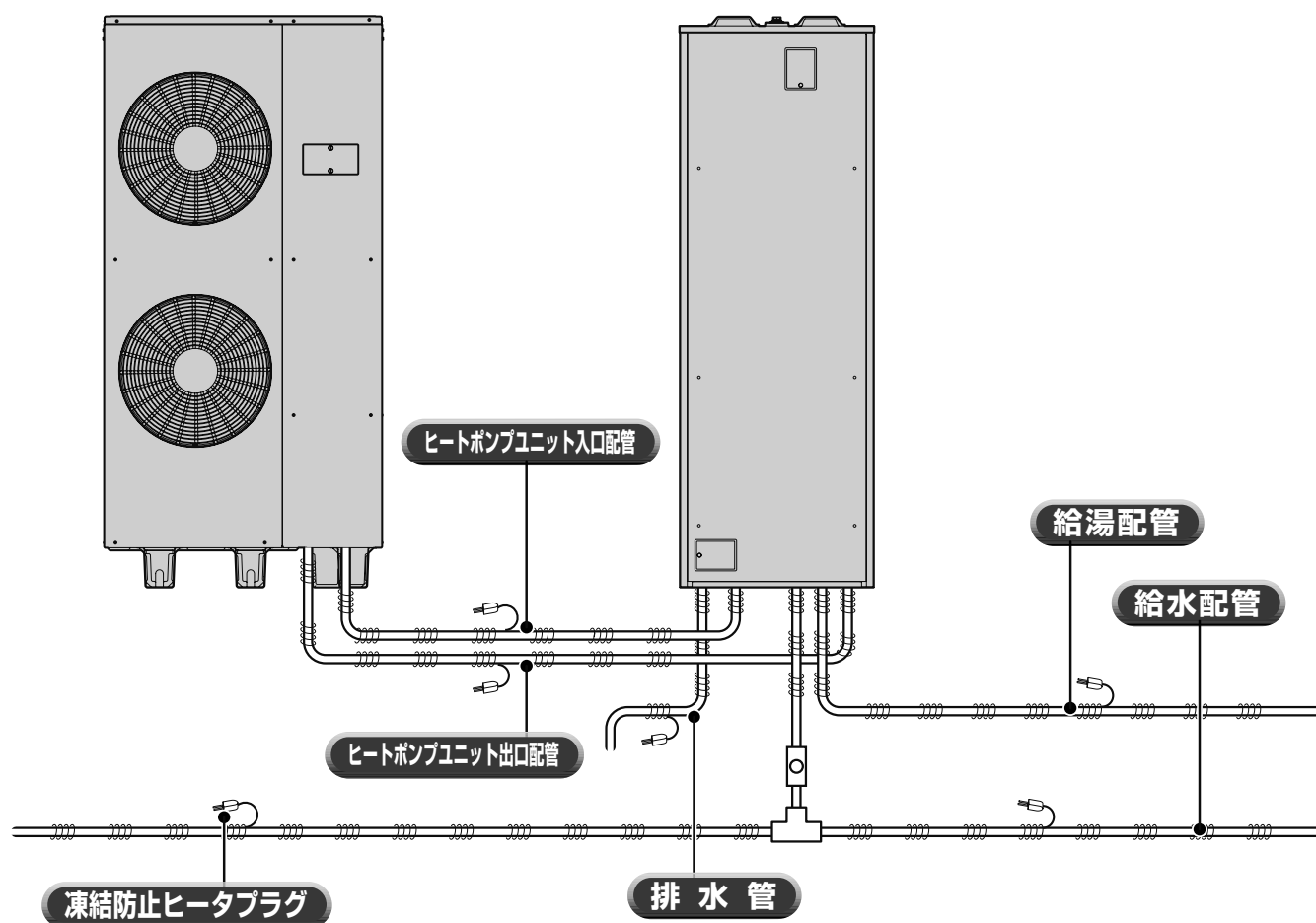
凍結防止ヒータを使う

(作業は販売店、据付工事店にご依頼ください。)

- 凍結する恐れのある配管部分すべてに凍結防止ヒータを巻きつけてください。(下図参照)
ヒートポンプユニットと貯湯ユニットの接続配管にも凍結防止ヒータを巻きつけてください。
- 冬期にはすべての凍結防止ヒータのプラグをコンセントに差し込みます。
凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。

ヒートポンプユニット

貯湯ユニット



お 願 い

給湯システムを使用しない間に配管等が凍結する恐れがある場合は、本体の電源を切らないでください。
(本体の電源を入れておかないと本体内部の配管、部品が凍結により破損する恐れがあります。)
長期間ご使用にならない場合などで本体の電源を切る場合は、お買い上げの販売店または据付工事店に
連絡して給湯システム全体の水抜き処理を行ってください。(☞ 17ページ)

◆ 長期間運転を停止するとき

- 1ヵ月以上、給湯機を使用しないときは電源スイッチを「切(OFF)」にし、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの水を抜いてください。
- 水抜きは設置した業者あるいは販売店にご依頼ください。

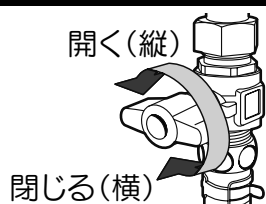
排水のしかた

- 1** ヒートポンプユニットの右側の前カバーを取り外して電源スイッチを「切」にします。
- 2** 給湯機用の専用止水栓を閉じます。
- 3** 貯湯ユニットの逃し弁のレバーを上げてください。タンクに空気を入れ、排水できるようにします。(☞ 20ページ)
- 4** 貯湯ユニットの排水栓を開き、タンク内の水を抜きます。排水溝から水があふれないようバルブを調整してください。(熱い湯が出る場合がありますのでご注意ください。)(☞ 20ページ)
- 5** 排水が終わったら、貯湯ユニットの排水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げて排水栓と逃し弁のカバーを閉じてください。
- 6** ヒートポンプユニットのエア抜き栓(入水金具右上)を開いてから水抜き栓(3カ所)とポンプの水抜き栓を開き、水を抜きます。(熱い湯が出る場合がありますので、ご注意ください。)
- 7** ヒートポンプユニットのエア抜き栓と水抜き栓(3カ所)、ポンプの水抜き栓を閉じ、前カバーを取り付けます。

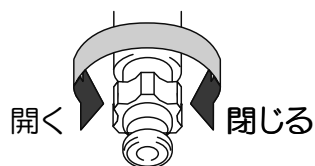
お願い

- 水抜き終了後に逃し弁のレバーが下がっていること、排水栓、水抜きおよびエア抜き栓が閉じていることを確認してください。
- 再び給水するときは、「給水のしかた」の手順を行ってください。(☞ 18ページ)

エア抜き栓



水抜き栓のつまみ



出口側(B側)水抜き栓
(配管接続部)

入口側(A側)水抜き栓
(配管接続部)

熱交換器水抜き栓

ヒートポンプユニット

電源スイッチ

前カバー
(ねじ6本)

排水栓
エア抜き栓

ポンプ水抜き栓

貯湯ユニット

逃し弁

タンク給水管用
水抜き栓

専用止水栓

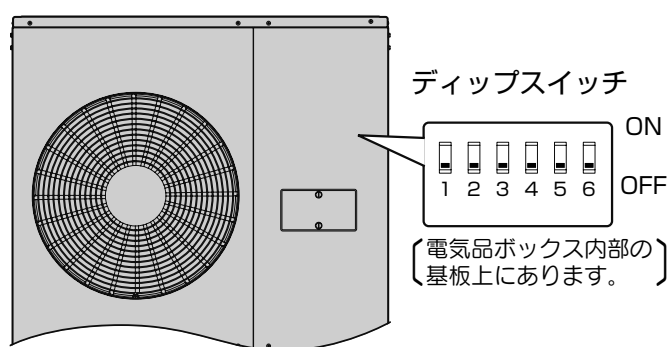
上手な使い方

◆長期間運転を停止するとき(つづき)

給水のしかた

- 1** ヒートポンプユニットの右側の前力バーをはずし、電気品ボックスのフタをはずします。
- 2** 電気品ボックスの電源ブレーカー下部の基板のディップスイッチの4番をオンにしてから電源スイッチを「入」にします。
(ヒートポンプユニットを運転禁止とし、内部の弁を開いて給水可能な状態になります。)
- 3** シンクなどのすべての湯水混合栓が閉じていることを確認してください。
- 4** 貯湯ユニットの排水栓およびヒートポンプユニットの水抜き栓が閉じていることを確認し、逃し弁のレバーを上げてください。貯湯ユニットが複数の場合は、貯湯ユニット1(給湯側)の逃がし弁を開けば、すべての貯湯ユニットに給水可能です。
- 5** 専用止水弁を開いてタンクに水を入れます。ヒートポンプ配管に止水栓を取り付けている場合は、止水栓を開いてください。タンクが満水になると、排水管から水が出ます。
(タンク1本の満水までの所要時間は30~50分です。)
- 6** 満水になったら逃し弁のレバーを下げてください。
- 7** ヒートポンプユニットのエア抜き栓を開きます。(入水金具右上)
- 8** ヒートポンプユニットのエア抜き栓から水がでてきたら、エア抜き栓を閉じます。
- 9** ヒートポンプユニット前面の基板のディップスイッチの4番をオフ側に戻します。
- 10** ヒートポンプユニットの電気品ボックスのフタを取り付けてから前力バーを取り付けます。

ディップスイッチの位置と操作方法



ディップスイッチ NO.4

給水前にON	
給水後にOFF	

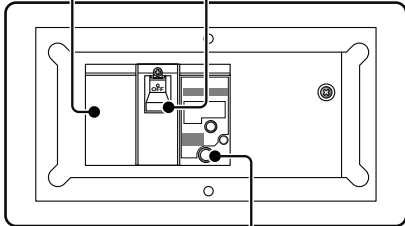
お願い

ヒートポンプユニットの給水が完了したら、必ずディップスイッチをOFF側に戻してください。ON側のままだとヒートポンプユニットは運転しません。

◆電源ブレーカーを入れたときと停電後

- リモコンのアラームが鳴ります。リモコンのアラーム停止ボタンを押してアラームを止めてから、現在時刻を確認してください。
(☞ 10ページ)

各部の点検とお手入れ

No.	項目	時期	点検・お手入れ
1	 警告  強制 漏電遮断器の確認	1 カ月に1回	①通電中にヒートポンプユニットの操作力バーを固定しているネジ2本を取り外し、操作力バーを開けてください。 ②漏電遮断器のテストボタンを押して、電源スイッチが「切(OFF)」になることを確かめてください。 ※万一、電源スイッチが「切(OFF)」にならない場合は、直ちに本製品の使用を中止し、販売店または据付工事店に必ずご相談ください。 ③動作確認後、必ず電源スイッチを「入(ON)」に戻してください。 ④操作力バーをネジ2本で確実に閉じてください。閉じ方が不完全ですと雨水が浸入して感電や機器が故障する恐れがあります。 ⑤リモコンのアラームを止めて、時刻の確認を行ってください。(☞ 10ページ) 漏電遮断器 万一、漏電が発生したときに電源を切り、感電を防止します。 電源スイッチ  テストボタン 月に1回、ボタンを押して漏電遮断器の動作を確認するものです。
2	逃し弁の確認		「逃し弁の確認方法」の手順を行ってください。(☞ 20ページ)
3	貯湯ユニットのそうじ		「貯湯ユニットのそうじ方法」の手順を行ってください。(☞ 20ページ)
4	据付台の確認	半年～1年	据付台が極端に錆びている、あるいは機器が傾いたりしていないかを確認してください。
5	水漏れの確認	1カ月に1回	給湯システム周り、配管からの水漏れがないことを確認してください。また、排水口から水が出ていないことを確認してください。
6	給湯システム表面のお手入れ	汚れたとき	①乾いた布または、布に台所用中性洗剤を薄めて含ませ軽く絞ってふいてください。 ②シンナーなどの溶剤は、塗装面をいためますので使用しないでください。
7	リモコンのお手入れ	汚れたとき	①乾いた布または、水に濡らした布を固く絞ってふき取ってください。 ②ベンジン・シンナーなどの溶剤の使用は、リモコンの変形や変色の原因になりますので、使用しないでください。 ③お湯(水)をかけて、汚れを洗い流すことはしないでください。

各部の点検とお手入れ(つづき)

■ 逃し弁の確認方法

逃し弁は沸き上げ時、膨張水を排出し、貯湯ユニットのタンク内が高圧になるのを防ぎます。

- 1** 貯湯ユニット前面の上側の操作力バーを開けて、逃し弁のレバーを上げます。
- 2** 貯湯ユニットの排水管から、お湯(水)がでれば正常です。
- 3** 逃し弁のレバーを下げて、排水が止まることを確認してください。操作力バーを閉じてねじを締めてください。

逃し弁は高い位置にありますので、踏み台などを使用して点検してください。

点検時は転倒しないように注意してください。

警告

逃し弁点検時は、配管に手を触れない

手を触れるとやけどをすることがあります。

■ 貯湯ユニットのそうじ方法

使用中、貯湯ユニット内部のタンク底部に湯あかなどの沈でん物がたまります。

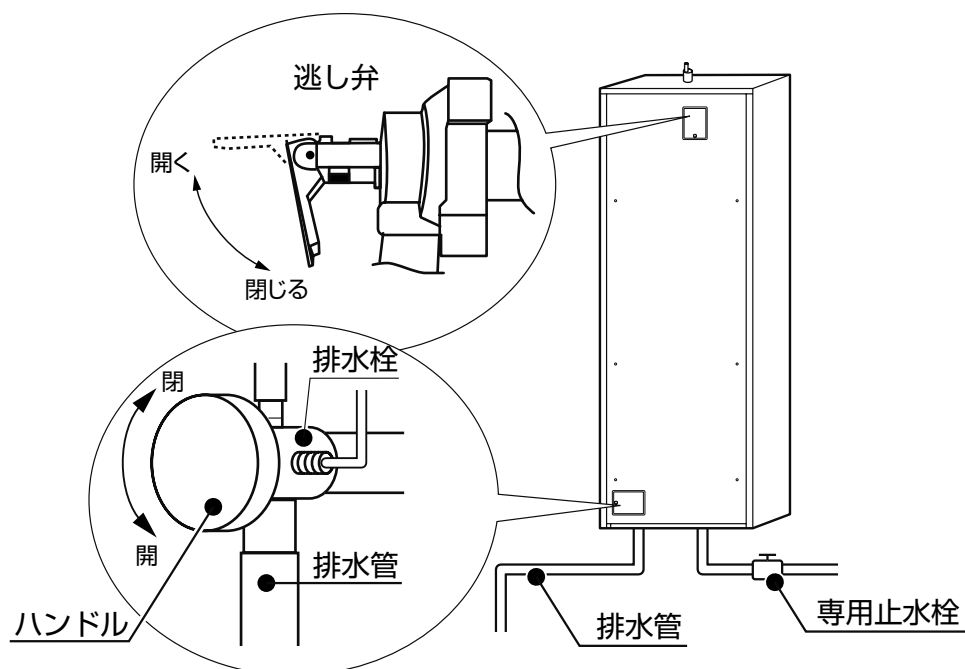
タンクの湯を排水することにより、タンク内の沈でん物を排出します。

- 1** 専用止水栓を閉め、上側の操作力バーを開けて逃し弁のレバーを上げます。
- 2** 下側の操作力バーを開け、排水栓を開けて約2分間排水してください。
- 3** 排水栓を閉じ、専用止水栓を開けます。
- 4** 排水管から湯(逃し弁からの湯)が出てきたら、逃し弁のレバーを下げます。
- 5** 上・下両方の操作力バーを閉じて、ねじを締めてください。

警告

タンクの排水時は、お湯に手を触れない

やけどをすることがあります。



逃し弁の点検・タンクの掃除

故障かな？

こんな時は故障ではありません

症 状	原 因
リモコンのアラームが鳴っている。 (停電後、湯切れのとき)	停電などで給湯機の電源が遮断された後、電源が入るとアラームが鳴ります。 アラームを消して時計の確認を行ってください。また、貯湯タンクの湯量が残 り少なくなるとアラームが鳴ります。(Cア 15 ページ)
お湯を使用していないのに、 給湯機が運転している。	貯湯ユニット内のお湯を自動的に約65～90℃まで沸き上げています。 貯湯ユニット内のお湯の沸き上げが完了すると自動的に運転を停止します。
運転中、ヒートポンプユニット の熱交換器が霜で白くなる。	冬期運転中は熱交換器に霜がつくことがあります。 ついた霜は自動で霜取り運転を行い、取り除きます。
排水口からお湯が出ている。	沸き上げ運転時は、貯湯ユニットのタンク内の水の温度が上昇し膨張します。 この膨張分が逃し弁から排水されます。正常な動作ですので排水栓のハンドル を閉めすぎないでください。
給湯中、ヒートポンプユニット のドレン口から水が出る。	ヒートポンプが大気から熱を吸収する時に、結露した水が出てきます。
お湯が白く濁って見える。	水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けた時に細かい泡となって出てくる現 象です。少し時間をおくと消えます。
お湯から油が出る、お湯が臭い。	初めて使用する時は、配管工事の油やにおいがお湯に混ざって出る場合があり ます。しばらく使用すると消えます。

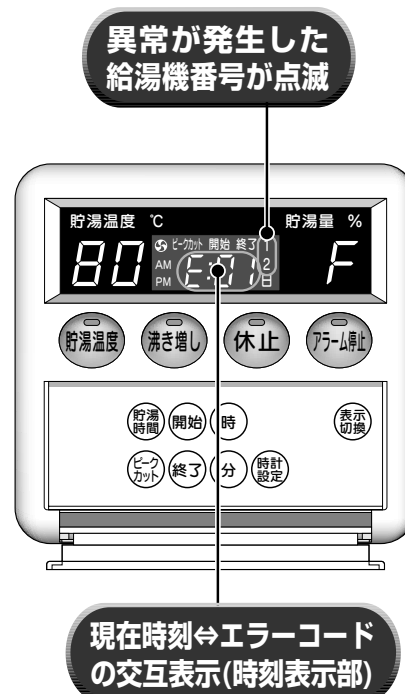
リモコンにエラーが表示された場合の処置

- 給湯機に異常が発生すると、「ピー」とアラームが鳴ります。
- 時計表示部に、現在時刻と異常の内容を示すエラーコードを交互に
表示します。
- 異常が発生した側の給湯機番号が点滅します。

異常発生(エラーコード表示)時の処置方法…

- 異常表示の内容と異常が発生している給湯機の番号を控えてください。
- 外来ノイズ等による誤動作も考えられますので、一度電源スイッチま
たはブレーカーを切った後、再度電源を投入してください。エラーコ
ードが消えて給湯機はリセットされます。なお、電源投入後は必ず時
計設定を行ってください。
- 上記操作後、同様の異常が発生する場合は、据付工事店(販売店)また
は24ページの「お客様ご相談窓口」の連絡先までご連絡ください。

エラーが出た場合は据付工事店(販売店)またはお客様ご相談窓口に早め
にご連絡ください。



知っておいていただきたいこと

- 給湯機を1台のみ接続してご使用の場合でも、異常発生時は給湯機番号「1」が点滅します。
- エラーコードE21(リモコン通信異常)が発生した場合は、アラームは鳴りません。
また、リモコンは操作ができなくなります。
- 外気温度が-25℃以下になりますと、機器保護のため運転を停止します。(凍結防止運転は継続されます)
運転停止中は、リモコンの時計表示部に現在時刻と「-25」を交互に表示します。

故障かな？（つづき）

こんな時は調べてみましょう

症 状	原 因	処 置
リモコンの表示部が点灯しない。 (電源が入らない)	電源のブレーカーが「切(OFF)」になっている。	「切(OFF)」になっている場合は、「入(ON)」にしてください。
	給湯機の電源スイッチが「切(OFF)」になっている。	「切(OFF)」になっている場合は、「入(ON)」にしてください。「入(ON)」にしてもすぐ「切(OFF)」になる場合は、電源ブレーカーを「切(OFF)」にして、至急据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	停電している。	復電するまで待ってください。 復電後はリモコンの時計設定を行ってください。
お湯が全く出ない。 お湯の出が悪い。	専用止水栓(給水配管)が閉じている。	開いてください。
	断水している／給水圧が低い。	水道局へ問い合わせてください。
	配管が凍結している。	据付工事店(販売店)へご連絡ください。
お湯が足りない。 お湯が出ない。 (水が出る)	リモコンの時計設定がされていない。(時刻表示が点滅している。)	時計が設定されていないと、使用状況にあった沸き上げができません。時刻を設定してください。
	リモコンで「運転休止」「ピークカット」設定している。	休止設定を取り消してください。ピークカット設定時間を短くするか、ピークカット設定を取り消してください。
	沸き上げ温度設定が低い。	沸き上げ温度(貯湯温度)を高く設定してください。
	深夜時間帯にお湯をたくさん使用した。	リモコンの貯湯量表示が「0%」のときは湯切れです。貯湯時間設定を変更してください。
	いつもに比べてお湯をたくさん使用した。	リモコンの貯湯量表示が「0%」のときは湯切れです。〔沸き増し〕の設定を変更してください。
排水口から水が 流れ出ている。	逃し弁、減圧弁の故障です。	逃し弁の点検を行ってください。 ヒートポンプユニットが運転していないときでもお湯が出ている場合は、減圧弁または逃し弁の故障や、給湯側からの逆流が考えられますので、据付工事店(販売店)へご連絡ください。

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店または工事店へご相談ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのと、大切に保存してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

移転されるときは

ご移転により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご移転先での日立の取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「一般ご相談窓口」(Cア24ページ)の担当地域にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

■ 使用中に異常が生じたときは、直ちに機器の電源スイッチを「切（OFF）」にし、〔または分電盤のブレーカーを「切（OFF）」にして〕、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

■ ご連絡していただきたい内容
アフターサービスをお申し付けいただくときは、下のことをお知らせください。

品 名	日立業務用エコキュート
形 式	RHK-15YJK
お買い上げ日	年 月 日
故 障 状 況	できるだけ具体的に (リモコンに点検表示(エラーコード)が表示されている時は表示内容もお知らせください。)
ご 住 所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	() -
訪 問 希 望 日	

※形式は保証書にも記載されています。

保証期間中は

修理に際しましては保証書(別添)をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金 = 技術料 + 部品代 + 出張料
などで構成されています。

技術料

診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。

部品代

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

出張料

商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途、駐車料金をいただく場合があります。

定期点検

- 給湯システムは年月の経過により構成部品が劣化します。ご使用条件や運転状況により給湯機の性能に影響をおよぼし、機能を十分に発揮できなくなることがありますので、1年に1回の定期点検をおすすめします。(点検費用など詳しいことは販売店にご相談ください。)

定期点検の主な内容

据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認。
機能部品	電気部品(配線・導通・動作の確認) 弁類(減圧弁・逃し弁)などの点検および消耗部品の交換。

■ 消耗・劣化しやすい部品……「減圧弁」・「逃し弁」は消耗部品です。

◆お客様ご相談窓口

日立製品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は

TEL 0120-226-420

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は

TEL 0120-3121-19

FAX 0120-3121-34

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

仕 様

		ヒートポンプユニット	貯湯ユニット
形式		RHK-15YJK	RHK-T56YK
種類(設置場所)		屋 外 式	
電源		三相200V	—
周波数		50/60Hz	—
最大電流		25A	—
外形寸法(高さ×幅×奥行)		1,850mm×900mm×450mm	2,176mm×685mm×790mm
質 量	製品	200kg	92kg
	満水時	—	652kg
中間期	標準加熱能力/消費電力(※)	15.0kW / 3.49kW	
	高温加熱能力/消費電力(※)	13.0kW / 4.06kW	—
夏期	標準加熱能力/消費電力(※)	15.0kW / 3.26kW	
	高温加熱能力/消費電力(※)	13.0kW / 3.82kW	—
冬期	標準加熱能力/消費電力(※)	15.0kW / 3.95kW	
	高温加熱能力/消費電力(※)	13.0kW / 4.20kW	—
中間期電流		10.6A	—
運転音	中間期/冬期高温(※)	51 / 54dB	—
使用冷媒(封入量)		R744(1.25kg×2系統)	—
設計圧力		13.2MPa	—
タンク容量		—	560L
配管口径	給水・給湯管	—	R1
	ヒートポンプユニット接続管	R3/4	R3/4
	排水管	—	R1/2
貯湯温度		—	65~90℃
水側最高使用圧力		190kPa (減圧弁170kPa)	
リモコン		別売 (RHKR-VG1)	—

※加熱能力、消費電力の測定条件は下の条件表を参照ください。

条 件 表

(単位:℃)

		利 用 側		熱 源 側	
		冷 温 水		空 気 温 度	
		入 水 温 度	出 湯 温 度	乾 球 温 度	湿 球 温 度
中 間 期 条 件	標 準	17	65	16	12
	高 温		90		
夏 期 条 件	標 準	24	65	25	21
	高 温		90		
冬 期 条 件	標 準	9	65	7	6
	高 温		90		

【MEMO】

This image shows a full page of blank handwriting practice paper. It features multiple sets of horizontal lines. Each set consists of three lines: two outer lines in a light blue color and a central line in a darker blue color. These sets are repeated down the entire length of the page, providing a guide for letter height and placement. The background of the paper is white.

[illegible]

愛情点検



長年ご使用の貯湯式給湯システムの点検を！

こんな症状はありませんか？

- 運転中以外に逃し弁から水が漏れる。
- 機器や配管から水が漏れる。
- 漏電遮断器が自動的に「切(OFF)」になる。
- その他の異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、電源ブレーカーを切り、給湯機専用止水栓を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

〈保守点検契約のおすすめ〉

- 給湯システムは常にその性能を十分に発揮させるために、正しい使い方と同時に定期的な保守点検が必要です。故障が起きてからの修理では、大変な経費と時間が必要になります。そこで、当社は保守点検契約をおすすめします。
- 保守点検契約についての詳細は、販売店または工事店にご相談ください。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。



お買い上げ日

年 月 日

形式

RHK-15YJK

購 入 店 名

電 話 ()

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12